

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	創造演習 I		
科目基礎情報							
科目番号	0007		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	機械電気工学科		対象学年	1			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	配布プリントなど						
担当教員	三浦 靖一郎, 藤本 浩						
到達目標							
<p>・自分が興味あるテーマを見出し、HP上で調査を自ら行う。そしてテーマに関する課題や疑問点を設定し、それらに対して自らの発想で解答を見いだす。</p> <p>・テーマに対して資料探索の方法、資料を使つてのストーリー展開、課題の発見、課題に関して解答を生み出す発想、発想をまとめ資料作成や口頭発表などを行うことができる。</p>							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
資料探索の方法	電子端末や書籍などを活用して、必要な事項の大半を調べることができる。		電子端末や書籍などを活用して、必要な事項をおおむね調べることができる。		電子端末や書籍などを活用できず、必要な事項も調べることができない。		
課題の発見と解答を生み出す発想	情報収集や情報整理により、十分に課題の発見と解答を生み出す発想をすることができる。		情報収集や情報整理により、おおむね課題の発見と解答を生み出す発想をすることができる。		情報収集や情報整理により、課題の発見と解答を生み出す発想をすることができない。		
資料作成および口頭発表	電子端末を活用して資料作成や口頭発表が十分にできる。		電子端末を活用して資料作成や口頭発表がおおむねできる。		電子端末を活用できず、資料作成や口頭発表ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 C 2							
教育方法等							
概要	資源のない日本が経済的な力を維持していくには、新しい価値を生み出す創造的な人材育成が必要である。そのような人材を育てることを目標とした創造教育が、機械電気工学科で行われている。そのスタートラインが創造演習 I である。特に、学生が創造力を身につけるには、様々な事柄に興味や関心を持ち、それらの事柄の現状把握、課題発見、解決方法、考案などができなければならない。本演習を通じて自分の知識の幅や深さを広げ、自分で学ぶ方法を身につけてテーマについて、まとめたりする能力を向上させる。						
授業の進め方・方法	前期：発表・報告書作成に必要なアプリケーション・ソフトウェアの基本的な使い方を学ぶ。パテント・コンテスト出願に向けての特許調査とアイデアの創出を行い、発表する。 後期：オリジナル・テーマについて調査研究を行い、発表する。						
注意点	前後期に作成した課題と発表を総合評価する。テーマに関し適切な課題を設定しているか、課題に対して妥当な解を得ているか、資料調査や調査方法は妥当か等を総合評価する。報告資料70%、発表30%の配分とする。						
授業計画							
	週	授業内容		週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	自主研究課題についてのオリエンテーション1		自主研究課題の目的や意義について理解する		
		2週	自主研究課題についてのオリエンテーション2		自主研究課題の調査方法を確認する		
		3週	自主研究課題の調査1		自主研究課題について調査できる		
		4週	自主研究課題の調査2		自主研究課題について調査できる		
		5週	自主研究課題の調査3		自主研究課題について調査できる		
		6週	自主研究課題の調査4		自主研究課題について調査できる		
		7週	自主研究課題の調査5		自主研究課題について調査できる		
		8週	自主研究課題の資料作成1		自主研究課題について簡潔にまとめることができる		
	4thQ	9週	自主研究課題の資料作成2		自主研究課題について簡潔にまとめることができる		
		10週	自主研究課題の資料作成3		自主研究課題について簡潔にまとめることができる		
		11週	自主研究課題の発表1		自主研究課題について発表することができる		
		12週	自主研究課題の発表2		自主研究課題について発表することができる		
		13週	自主研究課題の発表3		自主研究課題について発表することができる		
		14週	自主研究課題の発表4		自主研究課題について発表することができる		
		15週	自主研究課題の発表5		自主研究課題について発表することができる		
		16週	後期まとめ				
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	2			
			公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	2			
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	0	70	0	100
基礎的能力	0	30	0	0	70	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0